

災害に強い情報システム

BCP策定経験 岡山のIT3社

岡山県内のIT関連3社が連携して、災害に強い情報システムを構築する中小企業向けのワンストップサービスを始めた。互いの得意分野を生かし、重要書類のバックアップや緊急時のホームページ(HP)の更新などをサポートする。

中小企業向けにサービス バックアップやHP更新



IT-BCP「コンサルティング事業で連携する」
(左から)佐藤社長、飯島社長、大塚社長



図面や文書の電子化を手掛けるサトー・コピーセンターは、重要書類を手掛けるサトー・コピーセンターは、重要書

主催のBCP(事業継承計画)セミナーを昨年受講しており、自社でBCPを策定した経験を生かして取り組む。

三洋コンピュータ(岡山市北区辰巳)、飯島章仁社長(同大)、ミト・ワーカー(同大)、サトーラー(同大)、ミト・ワーカー(吉備中央町上野)、大塚恭子社長(同大)。いずれも同県産業振興財団

HP制作のミト・ワーカーは、災害時にHPの更新を代行する。被災状況や緊急連絡先を掲載し、重要な取引

データの種類や保存する頻度などをアドバイスする。パソコン台数20台程度までの企業を想定し、費用は5万円から10万円。先行して5月にサービスを始め、受注実績もある。

三洋コンピュータはデータのバックアップが必要なシステム開発などの業務の早期再開が可能となる。費用は3万円から。

データを担当。契約書や発注書などをスキヤナで読み取り、パソコンで検索や閲覧ができるようにする。災害で書類が失われても、データが残っていれば事業の早期再開が可能という。費用は3万円から。

三洋コンピュータはデータの種類や保存する頻度などをアドバイスする。パソコン台数20台程度までの企業を想定し、費用は5万円から10万円。先行して5月にサービスを始め、受注実績もある。

三洋コンピュータはデータのバックアップが必要なシステム開発などの業務の早期再開が可能となる。費用は3万円から。

先には電話やメールで復旧の見通しなどを伝える。初期費用1万円かかる月額千円が3万円。災害の有無にかかわらず月額千円が必要。

三洋コンピュータはデータのバックアップが必要なシステム開発などの業務の早期再開が可能となる。費用は3万円から。

「IT-BCPコンサルティング」とし、共通のパンフレットも作製した。3社は「それの強みを生かし、ワンストップで最適なサービスを提供したい」としている。